

平成30年度 第1回 知立市国民健康保険運営協議会 議事概要

1 日 時 平成30年8月16日(木) 午後1時30分から2時20分

2 場 所 知立市中央公民館中会議室

3 出席委員

公益代表 岩堀 行雄、飯田 善賢、毛受 秀之

医療機関代表 宮本 史生、神谷 雅人、中根 康夫、塚本 幸夫

被保険者代表 神谷 信彥、河村 京子、鈴木 民樹、高木 清

事務局職員 清水 弘一、寺田 秀彦、河合 圭太、神谷 知子

4 議 題

(1) 国民健康保険税の改正について

①平成30年度税制改正に伴う基礎課税限度額の取り扱いについて

②国民健康保険税の改正について

5 報告事項

(1) 平成29年度国民健康保険事業決算見込について

(2) 平成30年度国民健康保険の課税状況について

5 概 要

(1) 市長あいさつ

(2) 会長あいさつ

(3) 議事録署名者の指名

(4) 議題(1)①について

平成30年3月の地方税法施行令の改正により、基礎課税額の課税限度額が54万円から58万円に引き上げられたことについて事務局より説明を行い、次回開催時にさらに精緻した説明を行い、意見を求めることとなった。

【主な意見・質疑応答】

委 員 他市の改正状況はどうか。

事務局 次回資料として提出します。

(5) 議題(1)②について

平成31年度の国民健康保険事業費納付金の仮算定の結果が11月中旬に県から示される予定であり、その後説明を行い、税率改正について意見を求めることとなった。

(6) 報告事項(1)について

平成29年度の知立市の国民健康保険事業決算見込みを説明した。

歳入総額 6,044,770千円 前年比約1億665万円の減少

歳出総額 5,817,568千円 前年比約1億5,542万円の減少

直近5カ年度、歳入の減額に比べ、歳出の横ばい状態が続き、実質単年度収支も赤字

(7) 報告事項(2)について

平成30年度の知立市の国民健康保険税の課税状況を説明した。

当初課税 調定額 1, 213, 275千円 前年比約427万円の減少

【主な意見・質疑応答】

- 委員 国保の被保険者数の減少している理由は。
- 事務局 定年年齢の移行(60歳→65歳)による加入者の減少および後期高齢者医療への移行による喪失者の増加が理由として考えられる。
- 委員 基礎課税額に係る課税限度額を58万円に引き上げることによる
税収はいくらになるか。
- 事務局 大体400万円(110世帯)ぐらいを見込んでいる。
- 委員 平成29年度の収納率が結構高いが、何を理由に上がったか。
- 事務局 今までは滞納分は過年度分を中心に徴収業務を行っていたが、それに加え現年度分の納付勧奨も積極的に行ったため。